

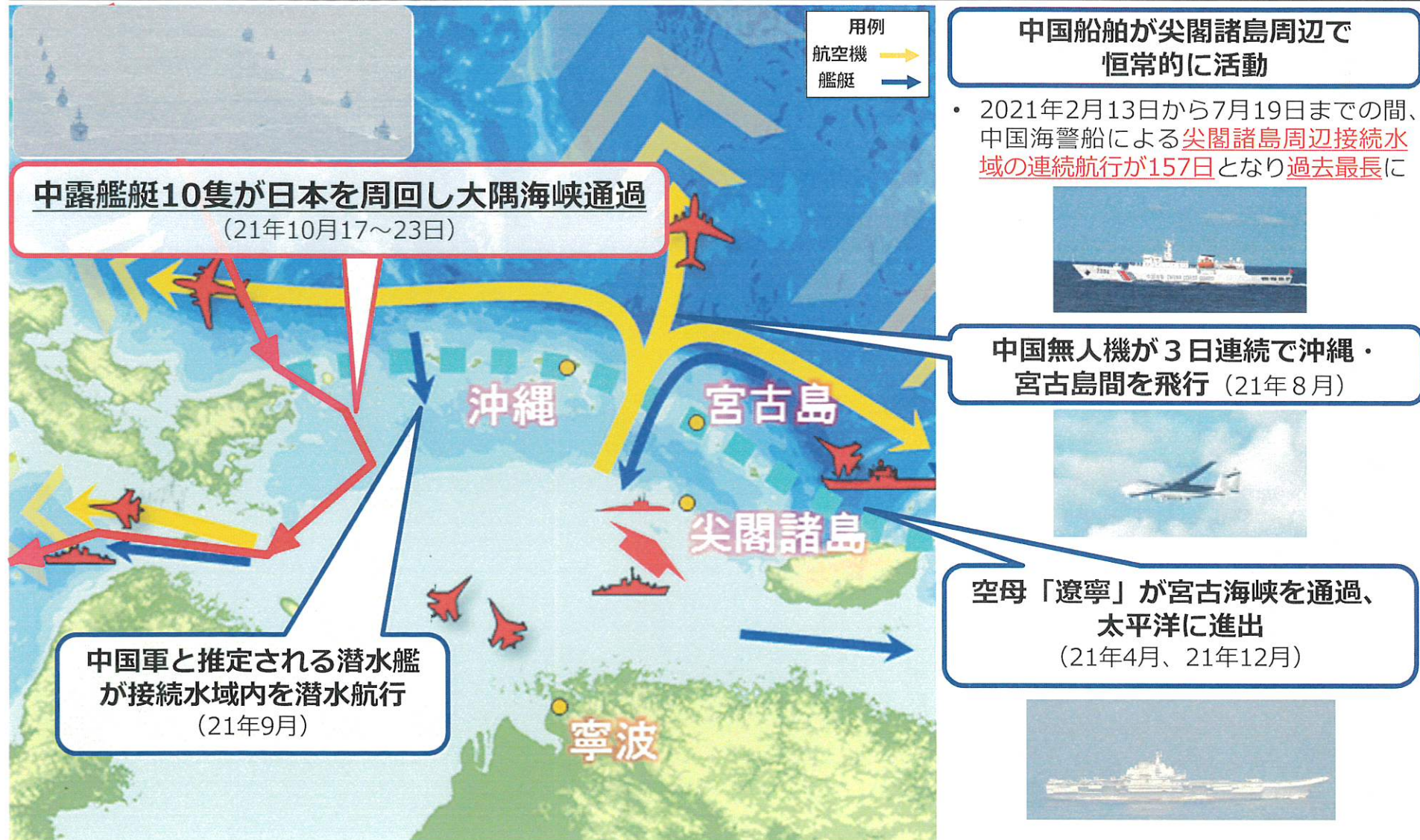
我が国周辺での海洋監視の必要性について

令和4年1月

防衛省

我が国周辺での海洋監視の必要性

- ◆ 中国軍は、**尖閣諸島周辺を含む東シナ海**を中心に、我が国周辺海空域での活動を**質・量ともに急速に拡大・活発化**。
- ◆ 中国の活動は**日本海・太平洋**における活動を含め、**今後一層の拡大・活発化**が見込まれる。



日本国内における無人機

海保：八戸での飛行実証

シーガーディアン



MQ-9B シーガーディアン
2020年 10月～11月 1機

自衛隊：三沢への配備



RQ-4 グローバル・ホーク
2021年度以降順次配備 3機

米軍：三沢への展開



MQ-4 トライトン
2021年 5月～10月 2機 約70名



RQ-4 グローバル・ホーク
2014年 5月～10月 2機 約40名
2015年 7月～12月 4機 約70名
2018年 6月～10月 6機 約40名

吉岐での飛行実証



ガーディアン
2018年 5月 1機

米軍：横田への展開



RQ-4 グローバル・ホーク
2017年 5月～10月 5機 約110名
2019年 8月～10月 4機 約80名
2020年 7月～9月 6機 約80名
2021年 5月～10月 6機 約80～100名



(参考) 米無人機の比較

RQ-4B (グローバルホーク)



MQ-4C (トライトン)



MQ-9



機種名	RQ-4B (グローバルホーク)	MQ-4C (トライトン)	MQ-9
全幅	39.90m	39.90m	20.12m
全長	14.50m	14.50m	10.97m
全高	4.70m	4.70m	3.81m
最大離陸重量	12.1t	14.6t	4.76t
運用速度	574km/h	592km/h	333km/h
航続距離	22,779km	15,186km	8,519km
滞空時間	36時間	30時間	32時間
運用高度	15,240~19,810m	15,240~17,221m	~15,240m
搭載センサー	可視、赤外線、SAR、信号情報	可視、赤外線、電波収集機能、海洋レーダー (SARを含む多様なレーダーを搭載)	可視、赤外線、SAR、信号情報
初飛行	1998年	2013年	2001年

資料源 : Jane's Unmanned Aerial Vehicles and Targets Issue37、米空軍FACTSHEET、General Atomics Aeronautical System社パンフレット、Northrop Grumman社パンフレット 等

(参考) 無人機のサイズ比較

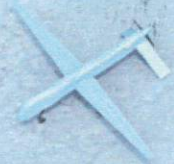
セスナ172



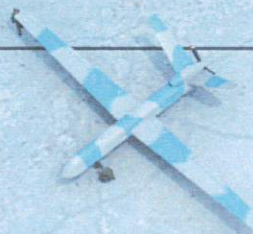
セスナ402



B737-300



MQ-1



MQ-9



RQ-4
グローバルホーク